

平成30年度 放送番組審議会 議事録

(株式会社ジェイコム九州 福岡局)

日 時：平成31年2月8日（金） 16:00～17:50

場 所：株式会社ジェイコム九州 福岡局 3階役員会議室

出席者： 嘱託委員9名中7名出席（敬称略）

（会長）石井 幸孝

（委員）四宮祐司、吉野嘉高、佐伯道郎、木本紳一郎、原口弘美、池田祐介

（ジェイコム九州）代表取締役社長 徳田瑞穂、取締役 松本友行、

取締役福岡局長 小森智幸、濱孝太郎、浅田明見

（西日本メディアセンター）センター長 仲川圭、篠原有、香月敬一

【番組審議会議事公開】

開会の挨拶

（J：COM 徳田）

この審議会では、毎回多くのご意見、ご指摘をいただき、番組を良くしていくための糧にさせて頂いております。現在、NHKのインターネット常時同時配信も国会で承認されようとしています。TV放送に加え同時にインターネットでも配信を行うとなると、放送と通信が一体化してコンテンツが流れていくこととなります。本年度の番組審議に加え、このような今後の動向に沿った番組制作に対するご提案等も頂きたいと思っております。

（石井会長）

TV業界はめまぐるしく変わりつつあります。委員の方はご堪能な方ばかりですので、将来の糧になるような、忌憚ないご意見を出して頂きたいと思っております。

アジェンダに則り下記事項を報告・説明

- 1) 平成30年度 コミュニティチャンネル 放送実績報告（仲川）
- 2) 平成31年度 編成方針案について説明（仲川）
- 2) 自主制作番組ダイジェストDVDの視聴及び番組内容説明（仲川）

番組を見ての意見交換

[レギュラー番組について]

(委員)

- ・「ジモスポFUKUOKA」はテンポが良くて良い番組だと思う。
- ・出ている地元の方が主役になるという作りが面白い。一人ひとりのコメントをしっかり撮っているので、より「主役感」が強まっていて、周辺の方の視聴にも繋がると思う。
- ・「目指せ！トップアスリート」というコーナーは数年後、価値のある映像になる可能性がある。

(J : COM)

- ・「福岡県タレント発掘事業」と連係して対象者をご紹介している。タレント発掘事業は中学生までが対象と、現在、パリ五輪を狙っている未来アスリートたちです。

(委員)

- ・「ジモスポFUKUOKA」は良い番組だと思います。生活情報誌「まいたうん」でもそれぞれのエリアのクラブ活動を紹介するコーナーがあり応募も多い。
- ・「ジモスポFUKUOKA」では、取材対象の選手のアップ映像は沢山あるが、他の選手や親御さん達のアップの表情が無いので、それも映し出すと更に良くなると思う。

(委員)

- ・「ジモスポFUKUOKA」について、普段、TV 露出の少ないスポーツを見られることは重要だと思う。特に福岡は色々なスポーツの全国大会や大きな大会がある割に、TV 放送されていないことが多いので、放送・情報発信することは良いと思う。
- ・事前視聴用DVDを見ているときに、横から「こんなのあるんだ」と言われました。その言葉が物語るように、県大会レベルの大会がせっかく放送されているのに、そのことが知られていない。選手の親御さん達などをもっと使って、より多くの人に発信する手だてを取る事が重要。
- ・顔を映すための承諾等のハードルはあると思うが、単純に放送すれば良いという感覚ではなく、もっと踏み込んで、子どもたちのアップ映像を増やせるよう、主催者側との協力体制が整えられたら、より面白い番組が作れるのではないかな。
- ・「時空の旅人」について、皆が知っている歴史だけではなく、各地域の知られていない歴史を掘り起すというのは非常に重要だと思うので、J : COMのエリアの中で行政も巻き込んで、もっと番組の対象を広げていけば良いと思う。

・ J : COMへ情報を発信する方法を知らない自治体や観光協会などがあると思う。
各自治体を担当する従業員がいると思うが、それでは賄えない団体等の情報を受け付ける仕組みを作ることにより、「知りたい情報」と「発信したい情報」を繋げることができるようになると思う。

(委員)

・年々番組のレベルは上がってきていると思うが、映像、テロップ、ナレーションなどについて、細かく指摘するような段階ではなく、もっと「ダイナミックな変化」が求められると感じる。

・というのも、今の若者を見るとテレビを殆ど見ていない。J : COMが一生懸命番組を作っても、テレビの前に座っていないのが実情。もっと多くの人が見てくれて、番組に参加してもらえると番組の質もダイナミックに変わってくる。

・本来、番組(ソフト)について議論する場だが、新たなプラットフォーム(ハード)をどう築くかというのが重要だと思う。

・放送と通信の一体化という観点でいうと、例えば「インターネットTV」としてコンテンツを発信するという方法もある。というのも、若者はスマホを扱う際の6割~7割はSNSを行っている。そういうメディアとの接し方の中で、J : COMのコンテンツに中々たどり着かないのが実情。

・その中でも「インターネットTV」で成功をしている事業者が数事業者あり、その共通点は、キラコンコンテンツとして「スポーツを手掛けている」ということ、「取材対象者との関係性が極めて良好」ということが挙げられる。

(委員)

・Jリーグは「スポーツでもっと幸せな国へ」という理念があり、「ジモスポFUKUOKA」についても同様に、スポーツで出演者やその周囲の人を笑顔にするという醍醐味もあると思う。

・更に、チームメイト、その家族や指導者の人間性まで映し出せると、もっと地域に根付いた人間味のある温かい番組を作れるのではないかな。

(委員)

・スポーツ体験塾や各競技団体の大会などを常にJ : COMが取材に来て「デイリーニューズ」や「ジモスポFUKUOKA」等で放送してくれることは有り難い。

・テレビに自分や周辺の方々が映るということが中々ないので、喜んで、また、それが励みになって、他の番組の視聴に繋がると思う。

・福岡市は今後、ラグビーのワールドカップ、世界水泳、日本陸上選手権など大イベントが目白押しだが、大きなイベントを「地域スポーツ」に繋げていきたいので、J : COMにお

手伝いして欲しい。

(石井会長)

- ・表現方法やポイントの絞り方など、毎年良くなっている。
- ・日本におけるスポーツの影響力は年々高くなっていて、J : COMは地域に根差し、地域に溶け込むようなスポーツに関する放送を「地域を育てる」くらいの意気込みでやって欲しい。

[特別番組について]

(委員)

- ・「博多祇園山笠」や「みあれ祭」などの文化系の番組は、映像として後世に残るので、非常に良いと思う。また、地元の人でも知らないような祭りもあると思うので、新しく引越して来た方々に知ってもらうこともできる。
- ・SNSでシェアできるような仕組みを作って欲しい。せっかく「ど・ろーかるアプリ」があるので、自分の好きなおところだけを切り取ってシェアするようなことができれば、視聴も増えていくと思う。

(委員)

- ・福岡高校体育祭の特番は映像に引き込まれるようで良かったと思う。
- ・「ふるさとW i s h」にJ : COMが関わっていることを知らなかった。これだけ良いものを制作している、また、携わっているのに、何をしているのか知られていないのは勿体ない。

(委員)

- ・高校野球中継は、私の周りでは反響が大きかった。このような今まで見られなかった内容の放送は引き続きやって欲しい。
- ・「e スポーツ」は、これから加速度的に波及してくると思うので引き続き力を入れて取り上げて欲しい。
- ・インターネットなどを使った情報発信に力を入れて欲しい。
- ・映像を撮って番組放送を行ったら、それで終わりになってる。
- ・「デイリーニュース」のF a s e b o o kの「いいね！」が少ないので、従業員の方などを巻き込んで、もっと情報発信をしていくことが必要。
- ・コンテンツを切り売りしてでも、配信して欲しい。「人図鑑」はY o u T u b eにアップしていることもあり、周囲では見ている人が非常に多い。
- ・「デイリーニュース」や「ジモスポFUKUOKA」など、複数回の放送を行っても、そのタイミングで視聴できる方は非常に少ない。

- ・過去のコンテンツを発信しないのは勿体ない。
- ・Y o u T u b e や S N S への発信について、その分野に長けている若い従業員を中心に専門チームを作った方が良い。

(J : C O M)

- ・放映権が必要なスポーツの大会などの配信は難しいが、まだ放映権の必要ないスポーツ大会や文化の祭典などを、我々で配信していけるように努力したい。

(委員)

- ・ダンスフェスタの映像の N E T 配信はできるのですか。

(J : C O M)

- ・使用しているダンス楽曲の N E T 配信用に著作権処理が必要であり、現状では配信できません。

(J : C O M)

ケーブルテレビ連盟としては J A S R A C など権利団体と N E T 配信について協議しています。

(委員)

- ・学校行事や卒業式はキラーコンテンツで「インターネットTV」においても、もの凄いクリック数になっている。対象エリアの方は見てくれるキラーコンテンツであるし、地域で子どもを育てるといった側面もあるので、大事にしてほしい。

(委員)

- ・良い番組を作られていると思いますが、「NET社会」や「スマホ」をキーワードとして解決してゆけば、もっと良くなると思う。
- ・「地域貢献」、「社会貢献」、「新しいコミュニティ」を大切にしたい。

(委員)

- ・日本はこれから確実に移民社会になると思うが、日本人と外国人互いが隔離しあっているように感じる。交流が深まるよう、互いにどういう生活をしているかなどの謎が解けるような番組の制作をお願いしたい。

(石井会長)

- ・一般的なマスコミは、外国人を扱う際、珍しい事象のみしか取り扱わない。
- ・人口がどんどん減っている中で、働き手に海外から来てもらわないといけない時代になっており、日常の中で外国人が居なければ成り立たない世の中になっているため、外国人に対する焦点の当て方をTV業界で考えなくてはならない。

・地元の事を地元の間が知らない社会になっている。地元の歴史と文化を知ってもらうための番組作りもTV業界の使命。

(J : COM)

- ・外国人に向けた番組作りは、今後考えなければならない。
- ・福岡では韓国人や中国人の方々が割合として増えてきているので、「デイリーニュース」での多言語対応の需要を考慮する必要がある。
- ・アメリカでは一つのコンテンツを言語だけ変えて放送しているので、近い将来J : COMでも行う必要性は高くなると考えている。

閉会の挨拶

(J : COM 小森)

本日は、忌憚のない意見を頂きありがとうございました。当社は地域密着を掲げながら番組制作・放送を行っておりますが、それを視聴者に上手く伝えられていない実態もあります。ソフト面のみにとどまらず、ハード面についての課題も解決し、その報告を次年度の審議会であれば良いと考えております。

また、外国人に対して多チャンネル放送の言語対応に限らず、J : COMサービスの加入申込書の多言語化等も解決することにより、本当の意味で地域に根差した番組制作・放送ができると考えておりますので、今後ともご指導の程よろしくお願ひ致します。